

バケツリレー アナウンス 原稿

次の競技はバケツリレーです。

バケツリレーは、災害時に発生した火災を、みんなの協力で水を運んで、早く消すために行われます。

この競技は、実際に火を消すのではなく、容器に水を早く一杯にしたチームを勝とします。バケツ2杯で一杯になりますが、途中でこぼしてしまうと、足りなくなり、3杯目が必要になるので、早だけでなく、慎重さも求められます。

この競技には、先生のチームも参加しています。選手名を紹介します。

森校長先生、池添教頭先生、1年学年団から林先生、岡田先生、大城先生、2年学年団から吉原先生、高岸先生、高瀬先生、3年学年団から宮川先生、草場先生、塚野先生、そしてALTのナイジェル先生の12名です。

水道水が出なくなったら、みなさん、どうしますか？

一人が1日に必要な飲料水は3リットルとされています。このほかに洗濯、風呂、洗面用など多量の生活用水が必要となりますので、その何倍もの水が必要になることがわかります。

グラウンドにある容器には約30リットルの水が入りますから、1日で約10人分の飲料水と言えます。

ですから、大切に、慎重に水を運ぶ必要があります。

~~~~~

1回目の青のバケツには、ほぼ満杯に水が入っています。持ってみると意外と重たいと思います。これは持ってみないと、実感がわかないので、みなさんも経験してみてください。

~~~~~

1回目のバケツが終わり、2つめのバケツに移りました。おっと！ハンドルがありません。これはゴミ箱です。火災が発生した時に、いつもバケツがあるとは限りません。身の回りにある容器を、バケツ代わりに水を運ぶことが現実的です。ハンドルがないと、なかなかたいへんそうです。